

# 地域経済循環分析調査研究事業(R4～5年度)

士別市が描く「成長戦略」は、「ゼロカーボン」と「地域経済循環分析」により、地域経済の好循環と持続可能な地域の実現の両立を推進しつつ、地域経済の活性化を図ることです。市内経済の活性化は喫緊の課題であることから、市内の産業構造や経済循環に関する情報の整理と分析を行い、これまで進めてきた施策の方向性の確認や今後、施策を検討する際に必要な基礎とするため、地域経済循環分析を実施します。

## 地域経済循環分析とは

士別市地域内で、所得(お金)の流れを「生産」「分配」「支出」の3面で可視化することで、市内経済の全体像と地域からの所得の流入出を把握します。

特に地域経済の衰退原因は「稼ぐ力」が小さい場合だけでなく、地域からの「所得の漏れ」に影響されることも多いため、所得の循環構造を把握することが重要です。

この分析によって、「士別市に稼ぐ力があるのか?」「地域住民の所得がいくらか?」「どの段階で所得がどの程度もれているのか?」「士別市の産業構造は?」など地域経済の特徴(短所・長所)を分析することが可能です。

## 令和4年度の分析

令和4年度の地域経済循環分析では、市内の経済状況把握や産業別の関連性を可視化するために、RESAS(地域経済分析システム)を活用した産業連関表を作成し、産業間のつながりやひとつの産業が他の産業にもたらす波及効果を推計するための資料を作成しました。

また、士別市が得意な産業や生産誘発効果が大きな産業を数値で把握することにより市内経済の好循環に向けた基本的な施策の方向性を確認しました。

## 令和5年度の分析

令和4年度に作成した産業連関表を用いた経済波及シミュレーションを実施します。

経済波及シミュレーションは、どのように他の産業や地域に波及するかを予測する手法です。

例えば、ある産業の発展が、その産業に関連する他の産業にどのような影響を与え、それが最終的に地域全体の経済にどのような影響を与えるかを分析することができます。これまで市が進めてきた施策の波及効果や新たな取り組みを進めるうえでの裏付けとなります。

# 士別市地域経済循環成長戦略 好循環に向けた取り組みの方向性

地域経済循環分析  
でめざすもの

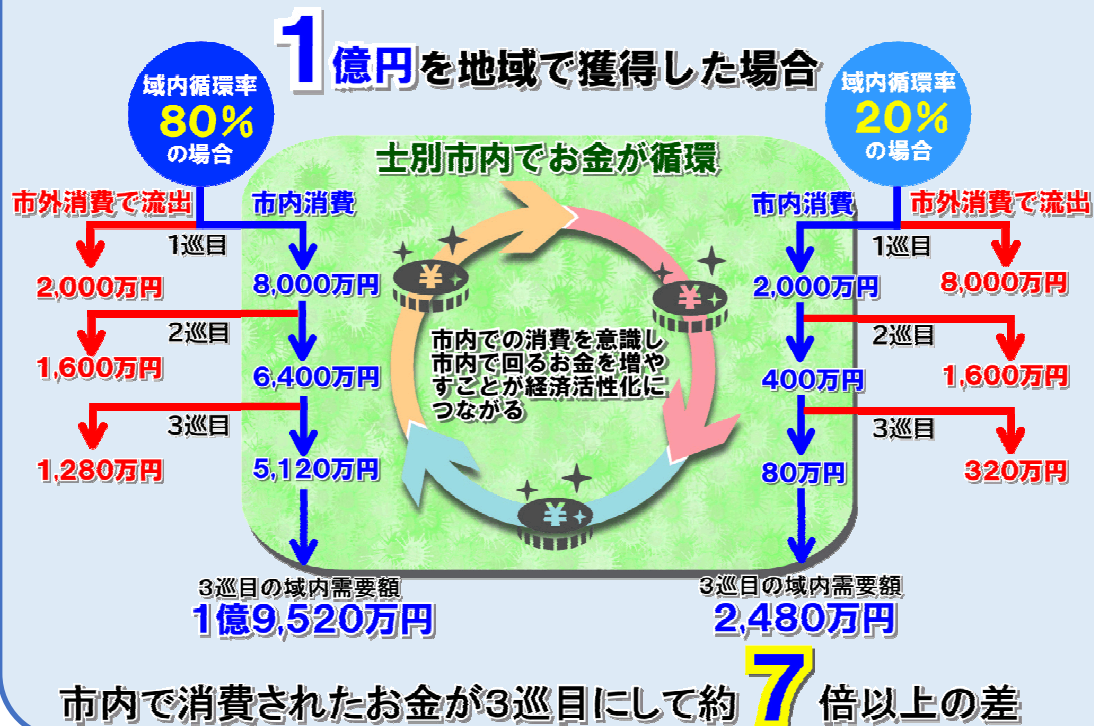
市内経済状況を数値化することで、市民・事業者・行政がともに共通認識を持ち、進むべき方向を確認します。また、市内経済の好循環に向けた市の取り組みとあわせて、市民一人ひとりが「お金の循環と効果」を考え、消費に対する行動変容につながるきっかけをつくり、市内経済の活性化をめざします。

## 市内経済循環構造の概要

<b>生産</b> 付加価値額 合計577億円	市内では、577億円の付加価値が生み出され、第1産業では、農業が81億円と最も大きい。第2次産業では、建設業が57億円と最大であり、市外から資金を稼いでいる産業は、農業、業務支援サービス、宿泊・飲食サービス業等である。
<b>分配</b> 所得額 合計893億円	生産された付加価値577億円のうち14億円が地域外に流出している。補助金・社会保障給付といった財政移転330億円が流入し、合計で893億円の所得額となっている。
<b>支出</b> 支出額 合計577億円	民間消費では、112億円が流入し、民間投資では95億円が流出している。また、市外からの財・サービス購入に伴い、333億円が流出しており、これは、市内における付加価値額合計の6割に相当する。
◇付加価値を生み出す主要な産業 農業、建設業、業務支援サービス、小売業、運輸・郵便	◇市外からお金を稼いでいる主要な産業 農業、業務支援サービス、宿泊・飲食サービス業、製造業

市内で稼いだ所得が市内で循環しにくい構造となっていることが大きな課題

市内でお金が循環していくことで得られる「地域内乗数効果」を期待



統計データを見ると士別市外からの財やサービス購入に伴い、333億円が市外へ流出しています。市外消費から市内消費へ仮に1億円変わるだけで市内経済は大きく回りだします。あわせて、市内での消費が増え、お金が循環しはじめると、大きな「乗数効果」を生み出し経済が活性化します。(左図)

**行動変容・意識醸成に向けた取り組み**

- ・地産地消の更なる推進
- ・市内消費へつながるきっかけづくり
- ・子ども達へ向けた市内消費意識の醸成 など

## 経済循環戦略テーマ

## 好循環に向けた市の取り組み

### ① しべつの未来を支える強い農業づくり

産業別生産額が最も多く、稼ぐ力、付加価値額、対外的競争力が高い  
市外需要の獲得

### 《推進》

第1期、2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、重点プロジェクトとして位置づけ推進。引き続き「農業未来都市創造」を掲げ、目標達成に向けた施策を進めます。

### ② 人と人をつなぐ合宿の里づくり

合宿を通じた交流は経済波及効果への期待が高く地域振興の有効なツール  
市外需要の獲得

### 《推進》

第1期、2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、重点プロジェクトとして位置づけ推進。引き続き「合宿の聖地創造」を掲げ、目標達成に向けた施策を進めます。

### ③ 道の駅「羊のまち侍・しべつ」を拠点としたまちの魅力発信

市内外に向けてしべつの魅力をまるごと売り込むハブ拠点  
市外需要の獲得  
市内での資金循環促進

### 《推進》

羊のまち士別「サフォークラム」ブランディングビジョンを推進することで、しべつの魅力ある特産品や農畜産物を市内外に発信し、経済活性化を図ります。

### ④ 市内経済循環を下支えする仕組みづくり

生産波及効果が高く市内経済を活性化させる新築・リフォーム助成等  
市内での資金循環促進  
市外流出を抑制

### 《検討》

市内経済好循環の流れを生む新たな助成の仕組みを検討します。また、住まいのエネルギー消費を抑制する省エネ対策を推進します。

### ⑤ 新たな時代を見据えたデジタル技術の活用

デジタル技術を活用した地域通貨の調査・研究  
市内での資金循環促進  
市外流出を抑制

### 《長期的な調査・研究》

市内でお金が循環していくことで得られる「地域内乗数効果」発揮させるため、デジタル技術を活用した地域通貨の調査・研究を進めます。